

学校だより



春里



平成29年度 5月1日号

学校教育目標

「生きる力」の育成

【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う温かい心の生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、夢を持って行動する生徒

さいたま市立春里中学校



## 夢を広げる部活動

校長 松井秀史

### 〈中学時代に夢を持つ〉

中学時代は、自分の未来へ向かってぐんぐん伸びていく時期です。真っ白なキャンパスに色を塗り始める時なのです。自分の人生をなんとなく思い描き、「何色?」「どんな形?」か迷いますが、自分なりの道筋を考えていくのです。そのためには「夢」「希望」が必要です。「夢をたくさん持っている人は、ぐんぐん伸びていく。」と言われる。「夢」と呼べるものを頭に思い浮かべるとは希望となり、人生を楽しくしてくれます。「でも、そんなにうまくいかないだろうなあ」なんて考えたら向上は望めません。大きな夢でなくても、身近なことでもやりたいことはたくさんあるはず。自分がやりたいことをみつけ、一步一步前進し、成長できる学校でありたいと考えます。

### 〈夢を広げる部活動〉

中学校時代の思い出を聞かれたときに「部活動」をあげる人は多いでしょう。部活動での経験は「一生の宝」と成り得るものです。中学校での部活動の体験が人生を方向付けた人も多くいます。小学生へのアンケートによりますと「中学校でやりたいこと」のトップは部活動です。本校の1年生も部活動の仲間入りをして夢と希望でいっぱいようです。運動部では3年生の引退がかかっている学校総合大会も間近となり学校中が活気づいています。部活動は、文部科学省の位置づけとしては「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること」と示されており



す。本校では「生きる力をはぐくむ」ための教育の一環として考えております。これから、共に成長し、時には涙し、トラブルを解決していく中で一回りも二回りも大きくなっていくことを期待します。また、学校外での習い事等も教育的効果が期待されます。子どもたちが生きる喜びを感じ、生きていくための力を伸ばしていくための大切な活動になって欲しいと願っています。



### 〈部活動等の意義〉

部活動等は、下記のような特徴を持ち、楽しさや喜びを味わい、豊かな人間関係を築く有意義な教育活動です。

- ① 共通の興味や関心を持った者の集まり
- ② 学年をこえて集まった異年齢集団
- ③ 自分が選んで活動する自主的な活動
- ④ 学校の教師が教育の一環として指導する教育活動

生徒たちが思い切り打ちこめる環境を作っていけるように、保護者・地域の方々とも連携していきますのでご協力よろしくお願いたします。

### 〈ちょっとひとこと・・・〉

たくさんの夢を持ち、自分のやりたいことを見つけ、熱中し、たくさんの経験を積むことはとても大切です。熱中すればするほど立ち上がる壁も大きくなります。苦しくなり辞めたいこともありますが、そんな時に人生の先輩として、こころから「がんばれ!」を言える大人になりたいものです。春里中生全員が夢を持ち、自分の夢に向かって中学時代を過ごしてほしいと願っています。

